

# アール・デコ と モード

100年前に、  
今を見つけた。

京都服飾文化研究財団  
(KCI)  
コレクションを中心に

Art Deco and Fashion:  
Centering on  
The Kyoto Costume  
Institute Collection

2025 10/11 — 2026 1/25 三菱一号館美術館



1920年代を中心に世界を席巻した装飾様式「アール・デコ」。生活デザイン全般におよんだその様式は、「モード」すなわち流行の服飾にも現れました。ポワレやランバン、シャネルなどパリ屈指のメゾンが生み出すドレスには、アール・デコ特有の幾何学的で直線的なデザインや細やかな装飾が散りばめられています。それは古い慣習から解放され、活動的で自由な女性たちが好む新しく現代的なスタイルでした。

2025年は、パリで開催され、「モード」が中心的な主題のひとつであった装飾芸術の博覧会、通称アール・デコ博覧会から100年目にあたります。この記念の年に、世界的な服飾コレクションを誇る京都服飾文化研究財団(KCI)が収集してきたアール・デコ期の服飾作品と資料類約200点に、国内外の美術館・博物館や個人所蔵の絵画、版画、工芸品などを加えた合計約310点により、現代にも影響を与え続ける100年前の「モード」を紐解きます。

The decorative style known as Art Deco swept the world in the 1920s. While touching all aspects of lifestyle design, it also became a fashion mode. Dresses produced by the leading Parisian houses of couture such as Paul Poiret, Chanel, and Lanvin featured Art Deco's characteristic geometric linear designs and decorative detailing. It was a fresh, modern look favored by active, free-spirited women intent on breaking with convention. The year 2025 marks the centenary of the *Exposition internationale des arts décoratifs et industriels modernes*, the Paris event that ultimately lent its name to the style. The present exhibition features 310 items, including 200 garments, accessories, and documents of the Art Deco period from The Kyoto Costume Institute's world-class collection along with paintings, prints, and crafts from museums and private collectors in Japan and abroad. Visitors can immerse themselves in a century-old fashion and design "mode" that continues to exert a powerful influence today.



1. ジャンヌ・ランバン イヴニング・ドレス 1920年代前半 撮影: 畠山崇 2. アッシュ・ドゥ・ノリス 帽子 1920年代後半 撮影: 林雅之 3. シャネル イヴニング・ドレス 1928年 撮影: 畠山崇 4. ボール・ポワレ デイ・ドレス 1922年 撮影: 林雅之 表面(中央) ジャン・パトゥ イヴニング・ドレス 1927年 撮影: 糸田猛 すべての京都服飾文化研究財団

- みどころ

1

ポワレ、ランバン、シャネル、パトゥなどパリ屈指のメゾンが生み出す1920年代のドレスを多数展覧
- みどころ

2

世界有数のファッションアーカイブスである京都服飾文化研究財団(KCI)から、アール・デコ期の選りすぐりのドレス約60点と服飾小物(帽子、バッグ、靴など)を一挙公開
- みどころ

3

アール・デコ博覧会から100年を記念し、当時の服飾の流行を、絵画、工芸、グラフィック作品などとともに総合的に検証
- みどころ

4

100年前の活動的な女性を彩ったジュエリー、腕時計、化粧道具(コンパクト)など、現代につながる様々なアイテムが集結



左から: ジャクリス・マルヴァル(ヴァーツラフ・ニジンスキーとタマラ・カルサヴィナ) 1910年頃 個人蔵/ジャクリス・マルヴァル委員会(パリ)協力 | キース・ヴァン・ドンゲン(オレンジ色のオングラス) 制作年不詳 ヤマザキマツダ美術館 ©ADAGP Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G3900 | ヒール 1925年頃 京都服飾文化研究財団 撮影: 畠山崇 | ルネ・ラリック アトマイザー「サン・アデュ」(さよならは言わない) ヴォレル社 1929年 希世のラリック美術館 | カルティエ製のフルーツカラダリング 1930年 国立西洋美術館(基本コレクション) 撮影: 上野朝宏 | ルース・バウダー入りコンパクト 1920年代後半 カネボウ化粧品(アンティークコンパクトコレクション) 撮影: 若林真人 | ルース・バウダー入りコンパクト 1922-1923年 カネボウ化粧品(アンティークコンパクトコレクション) 撮影: 若林真人

## アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団(KCI)コレクションを中心に Art Deco and Fashion: Centering on The Kyoto Costume Institute Collection

会 期 2025.10.11(土) - 2026.1.25(日)

開館時間 10:00 - 18:00 1/2を除く金曜日と会期最終週平日、第2水曜日は20:00まで入館は閉館時間の30分前まで

休 館 日 祝日・振替休日を除く月曜日、および12/31と1/1  
トークフリーデーの10/27、11/24と12/29、会期最終週の1/19は開館

観 覧 料 使用期間付き\*特別価格前売券 一般: 1,900円 \*使用期間10/11~11/30 \*無くなり次第終了  
通常前売券 一般: 2,100円 大学・専門学校生\*: 1,000円  
\*入場時学生証提示 ※各前売販売期間: 7/1~10/10 ※高校生: 前売全券種設定なし  
当日券 一般: 2,300円 大学・専門学校生: 1,300円  
高校生: 1,000円 中学生以下: 無料

毎月第2水曜日17時以降「マジックアワーチケット」: 1,600円  
当日の17時以降に当館チケット窓口でのみ販売します。  
※価格はすべて税込み ※障害者手帳をお持ちの方は半額、付添の方1名まで無料(ただし入館期間12/4~12/10は障害者手帳をお持ちの方と同伴者1名様まで無料となります) ※各観覧利用の場合、他の割引との併用不可

キラキラコーデ割  
会期中キラッと光るファッションアイテムを着用してご来館いただいた方は、当日料金が100円引きになります。※当日券全券種対象 ※他の割引との併用不可/チケット窓口でお申し出ください

三菱一号館美術館  
MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO



ACCESS  
・JR「東京」駅(丸の内南口)徒歩5分・JR「有楽町」駅(国際フォーラム口)徒歩6分・東京メトロ千代田線「二重橋前(丸の内)」駅(1番出口)徒歩3分・東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5出口)徒歩6分  
・都営三田線「日比谷」駅(B7出口)徒歩3分・東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下道直結)徒歩6分  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-6-2 お問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

主催: 三菱一号館美術館、公益財団法人 京都服飾文化研究財団  
特別協力: 株式会社ワコール 後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ  
協賛: DNP大日本印刷 協力: 日本航空、株式会社 七彩  
美術館 WEB サイト <https://mimt.jp/> 展覧会 WEB サイト <https://mimt.jp/ex/artdeco2025/>

